おとがわ
有勇優友
ふぉ～ゆ～
校長室だより
第 191 号
R7.1.24
文責　中西　勉

【４年】ふれあい天文学　～永井先生からのメッセージ～

先週１４日（火）の５・６時間目に、国立天文台准教授の永井洋先生をお招きして、４年生が「ふれあい天文学」で宇宙について学びました。永井先生は、電波望遠鏡を駆使して主にブラックホールの研究を進めてみえますが、ブラックホールの姿を世界で初めて可視化するなど、とても大きな成果を挙げてみえる方です。そんな宇宙研究の第一人者から直接話を聞けるとあって、４年生の子供たちの永井先生への注目度は非常に高く、休憩時間には永井先生にサインを求める長い列ができていたほどです。

▲ブラックホールについて話をされる永井先生

永井先生は、星の自転や公転、太陽系や銀河系の大きさ、星の質量、地球から恒星までの距離、電波望遠鏡でとらえたブラックホールの姿などについて、２時間に渡ってたっぷりと話をしてくださいました。そのどれもが大変興味深く、話が終わった後も、子供たちから質問が相次ぎました。

▲電波望遠鏡がとらえたブラックホールの姿に見入る4年生

今回の話を通して、子供たちは今まで以上に宇宙への興味・関心を高めたことでしょう。そして、永井先生が子供たちに最後に語りかけられた**「私は小学校５年生のときに天体望遠鏡を買ってもらいました。家の庭で、月、木星、土星などを観察して、とても感動しました。その時の経験が、天文学者になるきっかけとなりました。苦手なことを努力するより、好きなことを努力する方が楽だと思いませんか？（もちろん苦手なことに取り組むことも大切です！）みなさんも、好きなことを見つけて、目標に向かって努力してください」**という言葉がとても印象に残りました。永井先生がおっしゃったように、男川っ子には、自分の好きなこと、得意なことにどんどんチャレンジしてほしいと思います。

☆☆☆